



宮田小だより



み:自ら進んで学ぶ子 や:優しい心で助け合う子 た:たくましく粘り強い子
4月号 No.3 令和3年4月22日 市川市立宮田小学校

敬天愛人 便所めし? インプットとアウトプット

校長 本多 妃佐子

昨日、1年と4年で交通安全教室がありました。1年生が教室に戻るために、クラスごとに起立したところ、友だちの頭と目がぶつかってしまいました。保健室で見ていただき、大変なということで、担任が保護者に電話を入れたのですが、通話することができなかったそうです。授業がありますから、担任には教室に戻ってもらい、電話を頂けたら、私がお話をすることにしました。

ほどなくお母さまから電話がありました。事情を説明しますと、「そうですか。ご連絡ありがとうございます。相手のお子さんにおけがはないですか。」と、心配してくださいました。

このお言葉から、創立以来、宮田小が大切にしてきた「敬天愛人」の思いを感じました。

我を愛する心を以って人を愛する (天が我々一人一人を愛してくださっているように)

きっと、このご家庭ではお子さんにも受け継がれ、未来の宮田っ子へと繋がっていくのだと温かい気持ちになりました。

教室を訪問するのが何よりも楽しみですが、気になることがあります。

漢字や計算の課題、絵や新聞などの作成中、黙って集中できない子どもがいます。低学年は、鼻歌だったり「おれはこうする」などの独り言だったりします。学年が上がると、「何やるの?」「おまえ、なにやってるの?」と、だれかと繋がっていないと不安なのかもしれません。低学年には、「皆さんが大人になって、総武線に乗っているときに、鼻歌を歌ったり、独り言を言っていたりしたらどうですか。」と教えます。子どもたちは「変な人と思われそうです。」と答えます。「大人になるまでに直しましょう。気づいたら、早く直しましょう。」

高学年には、「便所めし」の話をします。学生の間で、昼食を一緒に食べる友人が見つからないときに、大学の便所の個室で、コンビニで買ったものを持ち込んで食べるということが、一時話題になりました。「一人で行動することは、意外と難しい。大人になるまでに、自分の責任で、一人で行動できる人間になれるようになってほしい。」と伝えています。

中学年はどうでしょうか。アウトプットはよくできますが、インプットはどうでしょうか。自分の発言はよくできます。友だちの考えや異なる意見を最後まで聞いて、インプットしているのでしょうか。受け止めて、理解しようと努めることが成長につながります。子どもですから、まだまだ自分は未熟で、学ぶことがたくさんあるという姿勢を持つことから、成長は始まるのではないのでしょうか。

コロナ蔓延防止等重点措置

政府は16日、緊急事態宣言の前段階にあたる「蔓延防止等重点措置」の適用対象として、埼玉・千葉・神奈川・愛知の4県を追加しました。

重点措置の対応として、市川市教育委員会から通知がありました。結論から申しますと、**これまでの感染対策をしっかりと継続する**というものです。

- ・部活動については、校外活動(練習試合等)は浦安市と市川市の範囲で
- ・来校者(授業参観等)については必要最小限
- ・体育については、組み合う運動(組体操・騎馬戦・相撲等)は禁止
- ・運動会、修学旅行等校外学習については、感染防止対策を講じた上で実施可(現時点)

市内でも、先週から小・中学生の感染が報告されるようになりました。

〈基本的な考え方〉手洗い 三密防止 マスク着用
を守って、教育活動を中断することがないように、ご理解ご協力を引き続きお願いいたします。

運動会について

子どもも保護者の皆様も楽しみにしている運動会です。感染防止策に配慮して、実施いたします。概要をお知らせします。

1日時 令和3年5月22日(土) 24日(月)振替休業
順延 5月26日(水)
※雨天時 6時に判断 中止をマチコミメールで連絡
5時間授業(給食あり)

2時程 【1部】1・3・6年 8:40~10:15
【2部】2・4・5年 10:35~12:10

3めあて 競技中 応援中 すべての場で
子どもたち一人一人が主体的に活動し、楽しめる運動会にしよう

4感染防止策(市川市の指針に基づいています)

- ・間隔をとった応援席
- ・騎馬戦 組体操 相撲など組み合う競技の禁止
- ・検温と手洗い
- ・水分補給と熱中症対策
- ・密にならない保護者の入れ替え

入り口を正門、出口を東門とし、一方通行に誘導する。

- ・保護者の検温と手指消毒
PTAにご協力をいただき、入り口で実施

5その他 コロナウイルスの感染状況によっては変更することがございますことをご了承ください。

宮田っ子PRページ ①

自然体験活動・社会体験活動を豊かに教育課程に取り入れて、人・こと・ものから本物の学びを大切にしています。



梨づくり 環境教育(水の循環 エネルギー) 保健衛生(性教育 体内の健康 ストレス) 音楽(箏 交響楽団 鍵盤ハーモニカ) 図工(焼き物 絵具)など、外部講師を招いています。

歯科検診 校医さんのお話

宮田小う歯保有率

H30年度: 13.2%

R元年度: 17.8%

R2年度: 16.6%でした。ちなみに全国保有率(R元年度)は22%です。学校歯科医の三宅先生から、あごの発達を促すために、「噛む習慣」の大切さを伺いました。食事にかかる時間・咀嚼回数が昭和初期に比べると半分に減少しているともいわれています。あごも噛む回数が減ると筋肉や骨が十分成長できず、結果的にあごの骨が小さくなってしまいます。

よく噛んで、左右バランスよくかむといいでしょう。正しい姿勢で食べることも重要です。

